

全共斗(ML派)の反斗争的単紀暴力糾弾!!

十日一日、明大和泉の校門前において民主化行動委員会の一員が、大学立法無効のアジートを配っている。彼等(全共斗)七、八人が取り囲み有無を言わさず校内につれこもうとし、暴力を加えた。それと止めようとした学友に対しても暴力をふるい、その学友は多数の負傷を出した。学友が彼等を取り囲み、弾けると、彼等は、我々に反対するものは、全て国家権力であるから、だからお前達はなぐられても当然だ。と言った。まづにナンセンスな非論理的な、論理以前の凶悪である。彼等は国家権力の暴行を肯定するものでないから、その様な、非政治的、非論理的な人間がらび立法斗争と明大斗争を勝利させようのか。我々にとりては、政治活動の自由を奪う彼等が、中教審審判大学立法に反対するのが、不可解でしかない。彼等こそ学園の入学立法ではないか。

全共斗は本質的に明大斗争とは無縁である。

我々は一貫して、ってきた様に彼等の6項要求は大学立法ではない事、ここにその本質を露呈し、破産しようとしている。そして正しく学友の要求をくみとりえず、今やその斗争が対する事も正しく理解できなから、我々は立法斗争を闘う中で、何にもおろさず、国政でも連日連夜の街頭演説を繼續して来た。我々の斗争という現象をなげき、絶えず、この斗争は日本の労働者を我々の隊列に引き込みつつ、立法斗争はまさに新法は立法無効、右の内閣打倒、即時国政解散へと前進している。(ここで我々は、すべての和泉の学友と共に斗争することを訴へた)。

10.2 星明総決起集会(午後6時、錦華公園本校うら)に結集せよ!!

民主化行動委員会